

## 2 中学校の展開例（3年保健分野）

(1) 単元名 健康な生活と疾病の予防「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」

### (2) 単元目標

- 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けてワークシートに記入したり、発表をしたり、仲間と意見交換したりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】
- 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりすることができる。また、学習したことを自分たちの生活に当てはめることができる。 【思考・判断】
- 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解したことを言ったり、書き出したりできる。 【知識・理解】

### (3) 指導と評価の計画

学習内容と活動		学習活動における具体的評価規準
1	<p><b>【学習内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 喫煙は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。</li> </ul> <p><b>【学習活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 喫煙の害による影響の資料（肺がん死亡率、喫煙開始年齢と心臓病死亡率等）からわかることをワークシートに書き出した後、班内で発表し合い、意見交換をする。</li> <li>2 未成年者の喫煙の害について、ワークシートにまとめる。</li> </ol>	<p><b>【思・判】（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料を元に予想したり整理したりして、問題を見付け、解決の方法を選んでいる。</li> </ul> <p><b>【知・理】（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ たばこの煙の中にはニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>○ 常習的な喫煙により、肺がんや心臓病など様々な病気を起こしやすくなることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>○ 未成年者の喫煙では、身体に大きな影響を及ぼし、ニコチンの作用などにより依存症になりやすいことを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>
2	<p><b>【学習内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 飲酒は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。</li> </ul> <p><b>【学習活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 飲酒による体への影響について、二者択一あるいは○×形式等の問題（プレゼンテーション）を解き、解答と解説を聞く。</li> <li>2 未成年者の飲酒の害について、ワークシートにまとめる。</li> </ol>	<p><b>【関・意・態】（観察）（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仲間とともに活動したり、自分の意見を発表しようとしたりしている。</li> </ul> <p><b>【知・理】（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 酒の主成分のエチルアルコールが中枢神経の働きを低下させ、思考力や自制力を低下させたり運動障害を起こしたりすること、急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ることもあることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>○ 常習的な飲酒により、肝臓病や脳の病気など様々な病気を起こしやすくなることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>○ 未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし、エチルアルコールの作用などにより依存症になりやすいことを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">薬物乱用と健康</p>	<p><b>【学習内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 薬物乱用は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。</li> </ul> <p><b>【学習活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬物標本に触れ、「薬物」の言葉から連想することを書き出し、それを班内でカテゴリ一別に分ける。</li> <li>2 薬物乱用経験者の手記を読み、薬物乱用が社会へ与える影響について、話し合う。</li> </ol>	<p><b>【関・意・態】（観察）（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の意見や考えを發表しようとしている。</li> </ul> <p><b>【知・理】（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 覚せい剤や大麻の摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることを言ったり、書き出したりしている。</li> <li>○ 薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、社会への適応能力や責任感の発達を妨げるため、暴力、性的非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">手たばこ・酒・薬物に出さないために</p>	<p><b>【学習内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境などが影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。</li> </ul> <p><b>【学習活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 喫煙、飲酒、薬物乱用の行為の原因について考える。</li> <li>2 喫煙、飲酒、薬物乱用に関する話を聞き、ワークシートにまとめる。</li> </ol>	<p><b>【思・判】（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為を行わないための行動について、学習したことを日常の生活に当てはめている。</li> </ul> <p><b>【知・理】（ワークシート）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、周囲の人々の影響や人間関係の中で生じる断りにくい心理、宣伝・広告や入手のし易さなどの社会環境などによって助長されること、また、それらに適切に対処する必要があることを言ったり、書き出したりしている。</li> </ul>

(4) 授業展開（4時間扱いの4時間目 「たばこ・酒・薬物に手を出さないために」）

**【本時のねらい】**

喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、周囲の人々の影響や人間関係の中で生じる断りにくい心理、宣伝・広告や入手のし易さなどの社会環境などによって助長されること、また、それらに適切に対処する必要があることを言ったり、書き出したりしている。

段階	学習内容と活動	教師の指導・支援	評価規準と方法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">導入5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の振り返りをする。</li> <li>○ 前時のワークシートを見て学習した内容を確認する。</li> <li>○ 本時の学習内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問答をしながら思い起こさせ、分からない場合は、班で相談しながら考えられるよう支援する。</li> <li>○ 本時のねらいを簡潔に説明する。</li> </ul>	

<p>展開 30 分</p>	<p><b>【学習内容】</b> 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、周囲の人々の影響や人間関係の中で生じる断りにくい心理、宣伝・広告や入手のし易さなどの社会環境などによって助長されること、また、それらに適切に対処する必要があることを言ったり、書き出したりしている。</p>	<p><b>【知・理】</b> 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、周囲の人々の影響や人間関係の中で生じる断りにくい心理、宣伝・広告や入手のし易さなどの社会環境などによって助長されること、また、それらに適切に対処する必要があることを言ったり、書き出したりしている。(学習カード)</p>
	<p><b>発問 1</b> 喫煙・飲酒・薬物乱用の害やおそろしさを知りながら、また、法律で禁止されていることを知りながら、それでもなお、それらに手を出してしまう人がいるのはなぜでしょう。</p> <p>○ たばこ、酒、薬物等に手を出してしまう原因をブレインストーミングでより多く付箋に書き出す。</p> <p>○ 付箋で出されたものを、模造紙に貼り、グループで話し合いながら要因ごとに分類する。</p> <p>○ 分類したら要因（見出し）を書き入れ、班ごとに発表する。</p> <p>○ 喫煙、飲酒、薬物乱用の行為の原因について、先生から話を聞き、ワークシートにまとめる。</p> <p>・ 思いついたものを、数多く書き出すよう指示する。</p> <p>・ 分類は、グループで話し合える雰囲気づくりをする。</p> <p>・ 薬物乱用の開始には、薬物の害知識がないことだけではなく、断る対処能力が不十分であったり、心理状況も関係していたりしていることに気付かせるような支援をする。</p> <p>・ 前時で行った、薬物乱用における心身及び社会的影響を振り返らせながら説明する。</p>	
<p>まとめ 15 分</p>	<p><b>発問 2</b> 次のような喫煙・飲酒・薬物乱用に関する話を読んで、グループで自由に意見を出してみよう。</p> <p>ケース 1：喫煙に関する話 ケース 2：飲酒に関する話 ケース 3：薬物乱用に関する話</p> <p>この中からグループごとに1つ選び、各話とそれに関する間を題材にして、自由に意見を出し合う。</p>	<p>・ 自由に意見や感想を言い、互いの考えに触れることによって、自己の思考をふかめられるよう支援する。</p> <p><b>【つまづいている生徒への手立て】</b> 話し合いに参加できない生徒には、発問したり、具体例を挙げたりして、意見が出せるようにする。</p>
	<p><b>発問 3</b> グループでの話合ったことから、わかったことや、これからこうしていこうということを学習カードに書いてみよう。</p> <p>○ 本時の振り返り及び本単元の振り返りを学習カードに記入する。</p>	<p>・ 単元を通して学んだことや感じたこと、また、これから自分がどう生活していくか等の課題も記入するよう助言する。</p>

<指導の工夫>

- 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけとなる要因について、**ブレインストーミングとカードによる分類**を行うことで、思考を促します。
- 喫煙・飲酒・薬物乱用に関するテーマについて**グループディスカッション**をします。それぞれが自分の意見をもって発言し、また、その発言内容についての自分の考えを述べ合うことで、思考力の向上を図ります。

## 【喫煙・飲酒・薬物乱用に関する話し合いの題材例】

### ケース 1

Aさんは、先輩にすすめられたのをきっかけに大学の3年生からたばこを吸い始めました。社会人になり、これまで何度か禁煙をしようとしてきましたが、会社で仕事の合間になると気分転換で吸いたくなくなってしまい、どうしても辞めることができません。しかし、最近は、会社内ではたばこを吸うことができなくなり、自ずと吸う本数も減らざるを得なくなってきました。そこで、これを機会に今度こそ禁煙しようとして真剣に考えるようになりました。

- Q 1 Aさんは、なぜ、たばこを吸い始めたのでしょうか。
- Q 2 Aさんが、これまでたばこをやめることができなかったのはどうしてでしょうか。
- Q 3 なぜ、会社内でたばこが吸えなくなったのでしょうか。
- Q 4 Aさんは、たばこをやめることができるのでしょうか。

### ケース 2

最近、飲酒にかかわり重大な事故が多発しています。そのことを受けて、法律が厳しくなったり、警察の取り締まりが厳しくなったり、飲酒に対する社会全体の目が厳しくなっています。一方では昔から「酒は百薬の長」といわれ、適量の酒は健康に良いとも言われています。しかし、法律では、未成年の飲酒は禁止されています。

- Q 1 飲酒による重大な事故には、どのようなものがあるのでしょうか。
- Q 2 なぜ、飲酒は、それらの重大な事故を引き起こすのでしょうか。
- Q 3 今後、さらに厳しい法律や警察の取り締まりをしていけば飲酒による事故はなくなるのでしょうか。
- Q 4 「酒は百薬の長」と呼ばれているにもかかわらず、なぜ、未成年の飲酒は、法律で禁止されているのでしょうか。

### ケース 3

またしても大学生による大麻事件が発覚した。大学生の場合、興味半分で大麻に手を染めるケースが少なくないが、それが怖い。  
今年上半期で、大麻関連での逮捕者は1,202人で、去年同期より12%も増えている。年間の逮捕者が最も多かったのは平成18年の2,288人。今年はそれを上回る最悪のペースになっている。そのうちの65%は10代、20代の若者だ。大学のキャンパス内で売買していたケースもあった。

- Q 1 大麻関連の逮捕者が増加しているのは、どうしてでしょうか。
- Q 2 逮捕者の約2/3が、10代、20代の若者なのは、どうしてでしょうか。
- Q 3 他の薬物より毒性の弱い大麻を、なぜ使用してはいけないのでしょうか。
- Q 4 一人の大麻の使用によって、どのような問題が生じるのでしょうか。

中学生での喫煙、飲酒、薬物乱用経験は、決して少ない数字ではありません。中学生の時期は、まず正しい知識と、「なぜやってはいけないのか」の「なぜ」の部分について科学的な理解が図れるようにします。また、知識を単なる「覚えるための知識」で終わらせることなく、自分のこととしてとらえられる実感を持った知識を身に付ける必要があります。そうすることで、保健学習で求められる、行動化への意欲と態度の育成が図られると考えられます。実践では「薬物乱用経験者の手記」を読ませたり、「薬物標本」を見せたりしていますが、その他に道徳や学級活動等と関連させ、セルフエスティーム（自尊感情）や規範意識を高める取組を、同時期に行うことで、効果をねらうなどの工夫を考えましょう。